

# 前橋市こども計画の素案に関するパブリックコメントの実施結果について

こども政策課

## 1 意見募集期間

令和7年12月25日（木）から令和8年1月30日（金）まで

## 2 意見提出結果

(1) 意見提出者数 63名

【内訳】 17歳までの方 39名

18歳以上の方 24名

(2) 意見提出件数 99件（うち、特になし等 10件）

(3) 意見の内訳

No.	項目	件数(件)	(内訳)
1	本編に関する意見	50	
	- 全体に関する意見		15
	- 名称に関する意見		1
	- 第1章に関する意見		2
	- 第5章に関する意見		32
2	別冊1「事業実施計画」に関する意見	1	
3	別冊2「施設整備計画」に関する意見	1	
4	概要版に関する意見	1	
5	やさしい版に関する意見	22	
6	その他意見	24	
合計		99	

## 3 意見及び市の考え方

前橋市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、いただいた意見の概要と意見に対する市の考え方を次のとおり公表します。

今回いただいたご意見を参考に、前橋市こども計画をまとめさせていただきました。また、計画に直接反映しないご提言・ご意見等については、今後の市政の参考にしてまいります。

なお、取りまとめの都合上、提出された意見は一部要約し、意見の中で個人を特定できる文言については削除しております。

No.	該当箇所	計画への反映	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	全体		まえばししをにこにこにしようというきもち、いいとおもいます。がんばってください。	ご賛同いただきありがとうございます。本計画の基本理念の実現に向け、計画に基づく様々な施策を実施してまいります。
2	全体		計画を見てぜひ、出来る限り実行してほしいと思います。	
3	全体		そういう活動をする、子どもも大人も自分らしく暮らせると思います。	
4	全体		素案は少し難しかったけど、子育て支援をするのはとても良いと思いました。	
5	全体		とても良い内容だと思います。	
6	全体		前橋市がより良くなると良いとおもいます。	
7	全体		良いと思う。	
8	全体		計画案の根拠が、グラフ等もあり分かり易いです。	ご賛同いただきありがとうございます。多くの方にご覧いただき、ご理解いただけるよう、より分かりやすい資料作成に努めてまいります。
9	全体		この計画が、書かれているだけで終わらず、実際に子どもたちの生活が少しでも楽になる形で実行され、“実際に”子どもたちの生活が変わることを願っています。子どもの立場から見た現実の声も、ぜひ大切にしてほしいです！！	ご意見のとおり、子どもたちが暮らしの中で変化を実感できるよう、計画に位置付けた取組を推進してまいります。また、計画の評価・検証に子どもにも参加してもらい、その意見を施策に反映する取組を進めてまいります。
10	全体		子どもの権利条約のイベントに参加する権利は素晴らしいと思った。	ご賛同いただきありがとうございます。本計画に基づき、ワークショップなど、子どもの意見を聴くイベントなどを開催し、その意見を施策に反映する取組を進めてまいります。
11	全体	●	70 ページ以上もある素案を、どれだけの人が読むのでしょうか？ 全体を通して抽象的な表現が多く、	子ども計画は、子ども施策を総合的に推進するための計画であり、複数の計画を包含することから、全体の

		<p>自分や身近な子どもにどのような変化や支援があるのかが分かりませんでした。</p> <p>市民向けには、もう少し具体例や、やさしい言葉での説明が必要だと思います。</p>	<p>ボリュームが大きくなっておりません。そのため、より多くの人に見ていただくための工夫として、「概要版」や「やさしい版」の資料を作成しました。また、いただいたご意見を踏まえまして、計画の本編に具体的な取組の例を写真などととも掲載しました。</p>
12	全体	<p>全部を確認できている訳では無いが、子供に愛情を注いだり、責務を果たす点に関しては、当たり前だと思う反面、できていない人が多いから出された政策なのは分かるが、当たりのことをやってる人に対しての政策はないのかなと思いました。</p> <p>補助や補助金等があれば良いなと思います。</p>	<p>ライフステージや置かれた状況に関わらず、誰もが必要な支援に繋がれるよう施策の充実や情報提供の改善等に努めるとともに、補助や負担軽減策についても、効果や財政状況を踏まえながら検討してまいります。</p>
13	全体	<p>少子高齢化が進む中、子供の人数を増やしたいというのがありますが、妊娠から色々経済的に難しい、不安な部分もあるので、その辺の補償などもっと充実してくれると助かります。</p>	<p>本計画に掲げる基本理念の実現のためには、こどものみならず、若者や子育て当事者への支援、更にそれを取り巻く社会全体での取組が必要になります。</p> <p>本市が抱える課題の解決に向け、本計画に基づき、こども・子育て施策を総合的かつ計画的に進めるとともに、補助や負担軽減策についても、効果や財政状況を踏まえながら検討してまいります。</p>
14	全体	<p>子育てしやすい環境を作って欲しい</p>	<p>本計画を策定し、関連する施策を総合的かつ計画的に推進することによって、子育てしやすい環境を整備していきます。</p>
15	全体	<p>● 前橋市こども計画全体を通じて、LGBTQのこども・若者への支援施策を、より体系的かつ横断的に位置づけることを要望します。</p> <p>1. 計画全体での位置づけ:現在、主に「誰もが安心して暮らせる社会の実現」の項目に記載がありますが、</p>	<p>ご意見のとおり、LGBTQのこども・若者に対する支援や周囲の理解を深めるための取組が大切なことであることは認識しております。</p> <p>実施校数の拡充について、より多くの児童生徒が在学中に学ぶ機会を得られるよう、いただいたご意見を踏</p>

		<p>教育、保健・医療、相談支援、居場所づくりなど、各施策分野においてLGBTQへの配慮を明記することで、より実効性のある支援が実現します。</p> <p>2. すべてのこどもに届く施策の実現:より多くのこどもたちにこの学びを届けることが、いじめ防止や人権尊重の観点から重要です。思春期に悩みを抱えても助けを求められないこどもたち、無知からいじめの加害者になってしまうこどもたちを減らすため、実施校数の拡充を検討していただきたいです。「こどもまんなか」を掲げる本計画において、すべてのこどもの人権を守るための施策の充実を求めます。</p> <p>3. 当事者参画の仕組み:計画の推進や見直しにあたり、LGBTQの当事者や支援団体からの意見を聴取する仕組みを設けることを提案します。「こどものまち前橋こども・若者会議」などにLGBTQの当事者・アライの視点を含めることも重要です。実際に現場で活動している団体との継続的な協働体制を明記してください。</p> <p>4. 先進事例の参考:他自治体では、パートナーシップ制度、レインボーフラッグの掲示、LGBT理解増進月間の設定など、様々な取り組みが進んでいます。前橋市においても、こども計画と連動した包括的な施策展開を期待します。</p> <p>5. 地域との連携:群馬県内で活動する当事者団体・支援団体との協働により、より実践的で効果的な支援が可能になります。官民連携の枠組みの中に、LGBTQ支援団体との協力関</p>	<p>まえまして、「性の多様性に関する講習会」の実施回数を成果指標に設定するとともに、回数を増やすことを目標とすることとしました。</p> <p>当事者や支援団体の意見反映、他自治体の先進事例や地域との連携などは、いずれもLGBTQのこども・若者の人権を守るうえで大切な視点であり、今後の施策検討に活かしてまいります。</p> <p>なお、本計画は、様々なこどもに関する施策を総合的に推進するための計画であり、個別事業について詳細を定めるものではありません。そのため、計画全体のバランスを鑑み、その他の記載内容については原案のままとし、いただいたご意見については、関係部局と共有させていただきますとともに、今後の市政の参考とさせていただきます。</p>
--	--	--	--

		係を明記していただきたいです。	
16	名称	サブタイトルについて 「こどもも幸せに暮らせる前橋市スマイル計画」の「も」が大人ありきで、次にこどものような感じで気になります。 2が最多投票の場合、その点を「必要に応じて修正を加える」を実施していただきたい。1は「前橋市こども基本条例」のとおり前橋市が取り組む姿勢が感じられる。	今回使用している「こどもも」の「も」は、こども以外の大人も高齢者もみんなが幸せに暮らせる前橋市を実現したいという想いを込めて使用していることを考案したこどもたちから伺っています。このため、「も」は修正せずにそのまま使用することとしました。
17	第1章	グラフにもあるように近年は心理的虐待の傾向が高まっており、我々大人の思う幸福がこどもにとってはストレスや精神的なダメージに繋がる事も多いと思います。大人の考える幸せを子供に押し付けるのではなく、子供の思う幸せを見つけてあげられるような計画を進めて頂きたいと思います。	こどもの権利保障の基本は、こどもの意見を尊重し、そのこどもの最善の利益を第一に考慮することです。ご意見のとおり、こどもの意見を聴きながら、こどものための施策を推進できるよう努めてまいります。
18	第1章	対象に「子育て当事者」が入っていることが良い。 計画名に「こども」とあることから、対象がこども、若者に見られがちであるが、その子らを「育てる親たち」も含まれていることが「育む」観点から良いものである。	本計画に掲げる基本理念の実現のためには、こどものみならず、若者や子育て当事者への支援、更にそれを取り巻く社会全体での取組が必要になります。 本市が抱える課題の解決に向け、本計画に基づき、こども・子育て施策を総合的かつ計画的に進めてまいります。
19	第5章 基本目標1 施策の柱1	こどもの権利の普及促進において、性的マイノリティのこどもの権利保障について、より明確に位置づけることを要望します。 1. 差別禁止の明記:こども基本条例や権利の普及において、性的指向や性自認を理由とした差別の禁止を明確に記載し、周知していただきたいです。 2. 安全な環境の保障:LGBTQのこど	本計画に記載するこどもの権利の普及促進は、こどもの権利保障について定める前橋市こども基本条例に基づき、市民のこどもの権利に関する理解と関心を深め、地域全体でこどもの権利を保障するという機運の醸成を行うための取組です。性的マイノリティのこどもを含め、全てのこどもに等しく権利はあり、差別の禁止や安全な環境の保障についても、

		<p>もが、学校や地域で安心して過ごせる環境づくりを、こどもの権利保障の一環として明示してください。思春期の子どもたちが、周囲の無理解に傷つくことなく、安心して学校生活を送れることが重要です。具体的には、いじめ・ハラスメント防止、プライバシーの保護、相談しやすい体制などです。</p> <p>3. 声を聴かれにくい子どもへの配慮:33 ページの「声を聴かれにくい子どもからの意見聴取」において、不登校や障害、外国にルーツのある子どもが挙げられていますが、LGBTQ の子ども・若者も対象に含めることを明記していただきたいです。性的指向や性自認について悩んでいても、周囲に打ち明けられず、助けを求めることが難しい子どもたちがいます。こうした子どもたちの声を聴き、施策に反映させることが重要です。</p>	<p>全ての子どもが持つ権利として条例に明記されています。</p> <p>また、こどもの意見表明についても、計画での記載の有無に関わらず、全ての子どもが持つ権利であり、条例にも明記されています。そのことを、今後しっかりと周知していき、誰もが声を上げやすい環境の整備を進めてまいります。</p> <p>なお、本計画は、様々な子どもに関する施策を総合的に推進するための計画であり、個別事業について詳細を定めるものではありません。そのため、計画全体のバランスを鑑み、記載内容については原案のままとし、いただいたご意見については、関係部局と共有させていただきますとともに、今後の市政の参考とさせていただきます。</p>
20	<p>第5章 基本目標1 施策の柱2</p>	<p>子どもの権利を尊重し、子どもの意見表明する場面としてワークショップを行ったことは素晴らしいと思います。一方でこどもの権利意識を醸成する乳幼児期の育ちへの取り組みが少ないように感じます。普段から乳幼児の声に耳を傾け、思いを代弁し、保護者の子育ての伴走者としてはたらく多くの保育士を子どもアドボカシーと位置付け、意見を聞く機会を作ってほしいと思います。また、そのような役割りを保育士が意識することは保育の質向上にもつながると思います。子どもアドボカシーとしての位置付けと共に、保育の質向上の支援を両方進めていただくことが、前橋の子育て環境の向上、</p>	<p>こどもの意見表明の取組についてご評価いただいた一方、乳幼児期からの権利意識の育ちに関する記述が十分でないとのこと指摘は、重要な視点として受け止めております。</p> <p>保育現場では、こどもの思いや気持ちを日常的に受け止め、必要に応じて言葉にして支える保育士が多くおり、こうした関わりは保育の質を高めるうえでも重要です。今後は、その役割をより発揮できるよう、意見を聞く機会の工夫や研修の充実など、支援の方向性を検討してまいります。</p>

			子どもの権利いしきを醸成することにつながると考えます。	
21	第5章 基本目標2 施策の柱1		<p>デジタル化推進に伴い母子手帳を電子化する事によって、今までなら子供からでも母子手帳みてる～や紙にカキカキしてると捉えられるものが、また僕の方見ないで携帯いじってるという状況になりかねないので、紙媒体の方が良いと思う。</p> <p>いまの10代の携帯使用時間はこれからもどんどんと伸びていくし、この10代が親になった時に、携帯を見てる時間が長い事が理由で産まれた新生児が死亡してしまうという事になるからです。</p> <p>ヨーロッパ圏のように18歳までは携帯を持たせないとした方が良いと思います。せめて前橋市だけでも。今まで自分達大人も小さい頃は携帯なんて見てないし、その分周りの友達や大人達と目を見て話したりという経験が出来ているからです。</p>	<p>電子版母子健康手帳は、健診記録の保存や成長のグラフ化、予防接種のスケジュール管理、制度情報の配信など、子育てに必要な情報を短時間で確認できる仕組みです。保護者が自分で調べる時間や手間を減らし、育児の利便性向上につながります。</p> <p>紙の手帳はこれまでどおり使えます。紙で記録しながら、必要な場面で電子版を併用するなど、ご家庭のペースで使い分けることができます。</p> <p>今後も、子育て世帯にとって使いやすい電子版母子健康手帳となるよう検討を進めてまいります。</p>
22	第5章 基本目標2 施策の柱1	●	<p>成果指標として「性の多様性に関する講習会等の内容の理解度」を設定し、現状95.3%を「現状維持」とされていることについて、再考をお願いいたします。</p> <p>1. 目標値の見直し:理解度95.3%は一見高い数値ですが、「現状維持」ではなく、「向上」を目指す姿勢を示していただきたいです。性の多様性の理解は、すべてのこどもの人権に関わる重要な事項です。</p> <p>2. 追加指標の設定:理解度だけでなく、以下のような実効性を測る指標の追加を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「LGBTQ人権教室の年間実施校数」の目標設定</li> <li>・「LGBTQ人権教室を受講した児童</li> </ul>	<p>本計画は、性の多様性のみならず、様々なこどもに関する施策を総合的に推進するための計画であり、成果指標においては、施策の柱ごとに主だった事業をいくつか抽出し、それに関する指標を1つずつ設けております。そのため、ご指摘の視点は重要なことであることは認識しておりますが、計画全体のバランスを鑑み、「性の多様性に関する講習会」で1つの成果指標を設定することとしております。なお、「性の多様性に関する講習会」についての成果指標は、いただいたご意見を踏まえまして、実施回数を成果指標に設定するとともに、回数を増やすことを目標とすることとしました。</p>

		<p>生徒数」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員向け研修の実施回数・参加率</li> <li>・相談窓口への SOGI に関する相談件数と対応状況</li> <li>・学校における性の多様性に配慮した環境整備の実施状況(制服選択制、性別に配慮したトイレ・更衣室等)</li> </ul> <p>3. 受講機会の重要性:現在の理解度95.3%は、講習会を受講した児童生徒を対象とした数値と思われませんが、年間2校の実施では前橋市全体の児童生徒のごく一部にしか届いていません。真に重要なのは、前橋市のより多くの児童生徒が性の多様性について学ぶ機会を得られることです。受講者の理解度に加えて、「受講機会の提供」を重視した指標の設定を求めます。</p>	
23	<p>第5章 基本目標2 施策の柱1</p>	<p>●</p> <p>LGBTQ 人権教室の実施について、大変意義深い取り組みとして高く評価いたします。この教育の必要性を強く感じています。</p> <p>一方で、思春期は性的指向や性自認に関する悩みを抱えやすい時期であり、本人も自身を説明する知識がなく、周囲の無理解に傷ついても助けを求めることが難しい状況にあります。また、非当事者の児童生徒も、無知からいじめの加害者になってしまうことがあります。より多くの子どもたちにこの学びを届けることが重要です。</p> <p>以下の点について充実を図ることを要望いたします。</p> <p>1. 実施対象の拡大:現在は小中学校が対象ですが、特に思春期にあたる中学生への実施を優先的に拡充して</p>	<p>ご意見のとおり、性の多様性に関して子ども達への教育や子どもと関わる大人への研修は大切な取組であると認識しております。</p> <p>実施対象の拡充について、より多くの児童生徒が在学中に学ぶ機会を得られるよう、いただいたご意見を踏まえまして、「性の多様性に関する講習会」の実施回数を成果指標に設定するとともに、回数を増やすことを目標とすることとしました。</p> <p>学校においては人権教育を特定の教科に限らず、学校の教育活動全体を通じて体系的に進めております。道徳科や保健体育などを中心に、自他を尊重し多様な価値観への理解を深める学びを充実してまいります。また教職員に対しては指定研修を通じてLGBTQを含む人権に関する重要課</p>

		<p>いただきたいです。小学校高学年においても、「多様性の尊重」「違いを認め合うこと」の基礎を学ぶことが、いじめ防止につながります。</p> <p>2. 教職員・保育士への研修:こどもへの教育と並行して、教職員や保育士等への継続的な研修実施を事業として明記することを要望します。大人の理解が深まることで、こどもたちが安心して相談できる環境が整います。現場の教職員から LGBTQ のこどもへの適切な対応について質問を受けることも多く、教職員研修の必要性は極めて高いです。</p> <p>3. 具体的な内容の明示:「性的指向やジェンダーアイデンティティの多様性に対し理解を深め」とありますが、SOGI(性的指向と性自認)ハラスメント防止、カミングアウトへの適切な対応、トランスジェンダーの児童生徒への配慮(制服・トイレ・更衣室等)など、具体的な取り組み内容を計画に含めていただきたいです。</p> <p>4. 予算措置の重要性:これらの取り組みを実効性あるものとするためには、十分な予算確保が不可欠です。より多くのこどもたちに学びの機会を届けるため、予算の拡充をお願いいたします。</p>	<p>題についての研修を実施しており、これらの充実について検討してまいります。</p> <p>なお、本計画は、様々なこどもに関する施策を総合的に推進するための計画であり、個別事業について詳細を定めるものではありません。そのため、計画全体のバランスを鑑み、その他の記載内容については原案のままとし、いただいたご意見については、関係部局と共有させていただきますとともに、今後の市政の参考とさせていただきます。</p>
24	<p>第5章 基本目標2 施策の柱1</p>	<p>LGBTQ のこども・若者に対する保健・医療支援について、計画への追記を要望します。</p> <p>1. 性別違和への対応:トランスジェンダーのこども・若者が抱える性別違和に関する相談体制や、必要に応じた医療機関との連携について、施策として明記していただきたいです。特に思春期は身体的変化が始ま</p>	<p>ご意見のとおり、LGBTQ のこども・若者、その保護者への支援は大切な取組であることは認識しています。性別違和に悩むこどもへの相談体制の整備や医療機関との連携、偏見や無理解による心理的負担へのメンタルヘルス支援、さらには保護者への理解促進や相談支援など包括的な支援について、検討してまいります。</p>

		<p>る時期であり、性別違和に悩む子どもにとって適切な支援が必要です。</p> <p>2. メンタルヘルス支援:LGBTQの若者は、社会的な偏見や差別、周囲の無理解により、メンタルヘルスの課題を抱えやすいことが調査で明らかになっています。専門的な相談窓口の設置や、カウンセリング体制の充実を図ることを計画に含めてください。実際に学校現場でLGBTQ人権教室を実施すると、終了後に個別に相談に来る児童生徒がいます。継続的な支援体制が必要です。</p> <p>3. 保護者支援:LGBTQの子どもを持つ保護者に対する理解促進セミナーや相談支援も重要です。家庭での理解と受容が、子どもの健全な成長に不可欠です。保護者自身も、どう向き合えばよいか悩んでいるケースが多く、適切な情報提供と支援が求められています。</p>	<p>なお、本計画は、様々な子どもに関する施策を総合的に推進するための計画であり、個別事業について詳細を定めるものではありません。そのため、計画全体のバランスを鑑み、記載内容については原案のままとし、いただいたご意見については、関係部局と共有させていただきますとともに、今後の市政の参考とさせていただきます。</p>
25	<p>第5章 基本目標2 施策の柱2</p>	<p>素案に盛り込まれている「高校生世代バス交通利用促進奨励金制度（通学定期券の購入代金の半額支援）」を歓迎します。この支援を検討する際、前橋市内に住み、高崎市など市外の高校へ通学している生徒も必ず対象に含めてほしいです。</p> <p>アンケート調査では、子育て中の保護者の約7割が「子育てで出費がかさむこと」を悩みとして挙げています。市外への通学は交通費が割高になる傾向があり、家計への負担も大きいいため、住んでいる場所（前橋市）からの支援があることは、保護者にとっても非常に大きな支えになります。</p> <p>また、本計画の基本目標2では「子どもから若者へ切れ目のない支援」</p>	<p>現在実施している本制度につきまして、市内の対象路線であれば、前橋市に居住で市外高校に通学される方も対象としております。</p>

		<p>を掲げています。通学先が市外であっても、前橋市民である高校生の学びと移動を支えることは、計画の理念に合致するはずです。</p> <p>さらに、市外へ通う高校生がバスを利用しやすくなることで、放課後に前橋駅周辺やアクエル前橋などの「こどもの居場所」に立ち寄りやすくなり、地元の魅力を再発見したり、地域とつながりを持ったりするきっかけにもなると考えます。</p>	
26	<p>第5章 基本目標2 施策の柱2</p>	<p>近年、中学生の部活動が地域に移行していることについて考えました。顧問をしてくださる先生方の負担が大きいため、部活動の時間がどんどん短くなっていることで、部活動に物足りなさを感じました。「多様な学びの日」として、第二・第四土日の部活動がなくなったことで練習試合が減り、自分の課題、周りとの連携を確認する場が少なくなったなど思いました。なのでとても難しいことは承知の上ですが、中学の先生が顧問をしていたところを、外部コーチに替えるなどすることで、部活動が増えたら良いなと思いました。</p>	<p>令和6年9月より中学生の受け皿となる地域クラブを募集し、令和7年12月末現在で、90を超える地域クラブが部活動のない休日を中心に活動を始めております。地域クラブの指導者は、部活動の顧問の先生とは異なる地域の方がほとんどです。今後も、こどもたちの居場所や活動の場、活躍の機会がなくならないように、こどもたちの活動を地域で支える本市の体制整備に努めてまいります。</p>
27	<p>第5章 基本目標2 施策の柱2</p>	<p>こども図書館移転について移転は親子目線にないと思う。</p> <p>元気21のプレイルームとこども図書館は同じフロアにあることが親子に優しいです。</p> <p>プレイルームの予約が出来るようになりました。しかし、こども中心ですから予約外でプレイルームに来る親子は多いと思います。プレイルームへの待ち時間を同じフロアのこども図書館で過ごす事で息子も図書館を楽しんでいました。とにかく移動が大変なので現状維持を強く願いま</p>	<p>前橋こども図書館は、「前橋市立図書館新本館基本構想・基本計画」において、図書館新本館に移転統合することが決定しています。</p> <p>前橋こども図書館跡地の活用については、プレイルームとの関係性を考慮して、新たな子育て拠点として魅力ある活用方法を検討してまいります。</p>

			す。	
28	第5章 基本目標2 施策の柱2		<p>「前橋市高校生学習室」の利用対象拡大と拠点拡充</p> <p>利用対象を高校生のみから中学生・小学生と拡充することで、「子育て当事者」が買い物等で一時預け所として勉強させる場とすることで、子育て世代を手助けするとともに、高校生が中学生・小学生に勉強を教え、中学生が小学生に勉強を教え、また逆に、小学生が中学生・高校生に、中学生が高校生に「勉強を教えてください。」と言えるような雰囲気と世代を超えたコミュニケーションを取れるような社会性を養う場とすること、上の学校に進学した際の部活動をはじめとする、社会に出た時に、上下関係にスムーズに溶け込める社交性も併せて育む場とする。</p>	<p>前橋市高校生学習室につきましては、開室以来、多くの高校生にご活用いただいております。利用者アンケートにおいても、「高校生だけが利用できることで落ち着いて学べる」「安心して過ごせる」といった声が多く寄せられており、この安心感の確保は学習室の重要な役割と認識しております。</p> <p>一方で、ご提案のとおり、異なる世代が交流しながら学び合う機会は、こどもたちの社会性や思いやりを育む上で大変意義のあるものと考えております。</p> <p>本市では現在、中学生の常時利用は行っておりませんが、高校生や大学生が学習支援を行う自主事業を通じて、中学生が学べる機会を設けております。また、小学生についても、体験講座やイベント等への事業周知を通じて学習室に触れられるよう取り組んでおります。ご提案いただいた利用対象の大幅な拡大については、高校生の安心・安全な学習環境の確保との両立が必要であり、目的や運営体制、利用状況などの観点から慎重な検討が求められます。</p> <p>いただいたご意見は、今後の若者の学びと交流のあり方を考える上で大変貴重なものとして受け止め、よりよい環境づくりに向けて参考にさせていただきます。</p>
29	第5章 基本目標2 施策の柱2		<p>前橋市では、前橋駅前のアクエル前橋内に「高校生学習室」を設置しており、年間3万人以上の延べ利用者がいるなど、中高生の学習場所として非常に高いニーズがあることが示されています。素案ではこの利用人</p>	<p>現在、中央前橋駅周辺については、徒歩5分程度の位置に中央公民館があり、館内に自習が可能な学習スペースを約60席設けております。学校帰りにも利用しやすい環境となっており、この施設をご活用いただ</p>

		<p>数をさらに増やす目標が掲げられていますが、さらなる利便性向上のため、前橋駅だけでなく、新前橋駅および中央前橋駅の周辺にも、中高生が利用できる図書室や自習スペースを設置することを提案します。</p> <p>理由は以下の3点です。</p> <p>1. 交通の結節点としての利便性：新前橋駅はJR各線の乗り換え拠点であり、市外（高崎市など）へ通学する生徒が非常に多く利用します。また、中央前橋駅は上毛電気鉄道の起点です。これらの主要駅に、電車やバスの待ち時間を有効活用できる「学びの場」があれば、通学時間が長い生徒の学習環境が大きく改善されます。</p> <p>2. 多様な居場所の確保：アンケート結果では、中高生の約5割が「地域が自分の居場所になっている」と感じていますが、家庭や学校以外の「第3の居場所」を求める声も多くあります。駅という公共性の高い場所に、本に触れ、静かに集中できる空間（中高生向け図書室）があることは、子どもが「大切にされている」と実感できる具体的な施策になります。</p> <p>3. 既存施設との連携と広報：前橋子ども図書館（本町）は素晴らしい施設ですが、学校帰りの生徒にとっては、駅により近い場所に分館や学習スペースがある方が利用しやすくなります。また、これらの施設を「ミライバシ」などのキャリア支援や地域の魅力発信の拠点として活用することで、若者と地域のつながりを強化できると考えます。</p>	<p>るものと考えております。また、現在のところ駅近くに図書館分館を設置する計画はございません。</p> <p>ご指摘のとおり、交通結節点である駅周辺における中高生の学習環境の充実は重要なテーマであると認識しています。主要駅の利用状況や学習ニーズの変化なども踏まえながら、自主的な学びを支える環境の拡充に向けて、今後の検討に活かしてまいります。</p>
30	第5章	第五章（P42、P43）において、若者	ご指摘のとおり、アンケート調査の

<p>基本目標 2 施策の柱 2</p>	<p>世代、特に独身者について、経済的な理由から子育てに不安を感じるほか、結婚自体が困難であると感じている意見が多いことが示されています。一方で、本計画で示されている経済的支援については、妊娠以前の段階を対象とした施策があまり見受けられなかったように感じます（青年期 P44、妊娠・出産以降 P49～）。</p> <p>現在の子育て支援は、子を持って初めて恩恵を受けられるものを中心であると認識しています。一方で、少子化対策は喫緊の課題であり、子を持つ前段階にある若者世代や独身者への経済的支援も、こども計画の中で重要な課題として位置づける必要があると感じます。今の若者世代にとって必要なのは、子を持ってからの支援だけでなく、現在の生活に対する経済的な安心感であり、その確保は若者世代の活性化や人口流出の抑制にもつながると考えます。市政で実施できる経済的支援には限りがあるとは思いますが、将来の子育てにつながる「今の経済的安心感」を支える具体的な施策を盛り込むことは可能ではないでしょうか。</p> <p>既に施行されている政策も含め、例えば交通の便の改善や補助、家賃補助や住宅支援、空き家対策事業、光熱費補助など、子育て世帯に限らず、結婚前の若者世帯にも対象を広げた経済的支援を検討することが求められるのではないかと考えます。</p> <p>また、市外の事例ですが、若い世代が理想の数の子どもを持たない理由として「住居が狭いこと」を挙げる人が一定数いるという調査結果も見られます。</p>	<p>結果、「若者が経済的に不安定」であることから今の社会は結婚しにくいと感じている独身者が多いことが分かりました。また、結婚に関する支援で行政に期待することとして、「新婚者向けの住宅補助など金銭的支援」を期待する独身者が多くなっております。</p> <p>若者の結婚や子育てに対する不安を取り除けるよう、若者に対する補助や負担軽減策について、効果や財政状況を踏まえながら検討してまいります。</p>
--------------------------	---	--

			子を持つことや結婚することへの不安が少しでも低減される前橋市になることを願います。	
31	第5章 基本目標2 施策の柱2		学校のタブレットの閲覧制限が厳しすぎて調べたい事が、調べられず、困ることがあります。もう少し制限を優しくして欲しいです。	児童生徒がネット上のトラブルに巻き込まれず、安心して勉強に集中できるよう、タブレットには一定の制限を設けています。 一方で、学習に役立つサイトについては、学校や教育委員会で内容を確認したうえで、必要に応じて利用できるよう設定を調整するなど、柔軟な対応もしております。
32	第5章 基本目標2 施策の柱2		温かくて美味しい給食を学校の友達と食べたい。	学校給食では、こどもたちにおいしい給食を届けるため、旬の食材の良さを活かした献立づくりに加え、安全で良質な食材の確保にも努めています。 今後も、こどもたちが友達と一緒に温かくておいしい給食を楽しめるよう、内容の充実を図ってまいります。
33	第5章 基本目標2 施策の柱3		地域の保健センターがありません。宮城、粕川、大胡の為の保健センター出張所の様なのがあったら良いと思う。 健診時、赤ちゃん連れで一カ所朝日町に集まりひたすら待つのは地獄でした。	乳児期の健診については、より身近なかかりつけ小児科等で受診が可能です。1歳6か月児、2歳児歯科、3歳児健診については前橋市保健センターでの集団健診による実施となっておりますが、待ち時間の短縮のため、受付については、時間で区切り一定人数を割り当てることや、健診を回っていただく順序の変更を柔軟に調整すること等により、所要時間の短縮に努めております。 今後も健診を受診される方へ配慮しながら対応してまいります。
34	第5章 基本目標2 施策の柱4		いじめにおいては犯罪と言う事を認識させるような教育をして欲しいです。	いじめは児童生徒の人権を著しく侵害する行為であり、場合によっては犯罪に該当する重大な問題であると認識しております。各学校では、道徳教育や人権教育をはじめ、いじめ

				<p>防止対策推進法の趣旨や内容を踏まえた学級活動・委員会活動等の特別活動を通して、いじめを決して許さない意識の醸成に努めております。</p> <p>合わせて、スクールロイヤー等の専門家と連携したいじめ防止に関する教育的取組を行っている学校もあり、法的な視点からの理解を深める機会の充実を図っております。</p>
35	第5章 基本目標3 施策の柱1		<p>こども計画とともに、外してはいけない前提の1つとして、支援者・教育者フォローも必要かと思えます。</p> <p>関わる大人に時間や経済的な余裕、発達障害などの専門的知識が必要ではないでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり、支援者や教育者をはじめ、こどもに関わる大人が安心して役割を果たすことができるよう、大人に対する支援を行うことは重要なことであると認識しております。</p> <p>本計画でも、支援者に対する研修会の開催や専門的助言及び支援の実施等を位置づけており、継続的な支援者のフォローに努めてまいります。</p>
36	第5章 基本目標3 施策の柱2		<p>早くに「こども、若者」に成功体験を経験させる機会の創設</p> <p>早いうちにどんなことでもいいから成功体験を味わわせて、自分自身に自信・やれば出来ることを体感して教えることで、その後の人生に積極的に取り組む姿勢を植え付け、「こども、若者」の将来に夢を持たせることで、生きる素晴らしさのきっかけづくりの手助けを前橋市民、行政、民間企業、各種団体等で行う。</p>	<p>ご指摘のとおり、こどもに成功体験を経験させることは、自己肯定感や自己有用感を育む上で重要であると認識しております。</p> <p>本市としても、こどもが意見を表明し、それを市政に反映させる取組など、こどもが様々な経験を通じて成功体験を得られるよう、こどもの成長の支援に努めてまいります。</p>
37	第5章 基本目標3 施策の柱2	●	<p>将来の進路や仕事について考える機会の創出</p> <p>少子化に伴い、労働者確保に官民間問わず苦慮している。それに伴い、公務員自体も人気低迷に加え、老朽化したインフラ整備を担う土木職、建築職が国・県・市・町の職員に共通して不足する状況である。</p> <p>令和7年度から本市にあっても県内</p>	<p>ご意見のとおり、土木職・建築職の受験者数は全国的に減少しており、本市でも同様の課題を抱えています。このため、大学等推薦による試験方式については、多くの方に受験いただくための重要な選択肢の一つと考えています。</p> <p>一方で、公平性にも十分配慮しながら、将来の進路や仕事を考える際の</p>

		<p>で初めて土木職、建築職について、県内大学等からの推薦による試験方式を導入した。本市は、本市が運営する「前橋工科大学」があり、当校は土木系学科、建築系学科を有していることから、医学部受験の地域枠のように、採用の公平性に支障がなければ、土木職、建築職採用に「前橋工科大学卒」が可能であれば、上記推薦方式に加えて新設し、入学前・在学中の早い時期から幅広く情報を得ることで、将来の進路や仕事について考える機会を創出し、さらには本市での就業につながっていくことで本市からの転出抑止・転入（本市以外からの進学・就職）を創出する。</p> <p>併せて、警察官・警察職員の希望者も減少傾向にあることから、上記４に参加したこどもや若者に警察の仕事について考える機会を創出し、将来の警察官・警察職員への就業につながっていくことで本市からの転出抑止も図れれば、こどもや若者、子育て当事者ととも前橋市・群馬県警察のすべてがWIN-WINとなる機会を創設する。</p>	<p>選択肢の一つとなるよう、多様な試験方法の検討を進めてまいります。</p> <p>また、市役所で働くことに興味や関心がある方に対し、業務内容の説明や職場見学、仕事体験などを実施するなど、職員採用に向けた情報発信にも取り組んでおります。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえまして、事業実施計画に「職員採用に向けた業務理解・魅力発信の取組」を追加するとともに、地域人材の育成・定着に関する取組として「本市と市内大学等との連携事業」、「共愛学園前橋国際大学との連携事業」を追加しました。</p>
38	<p>第5章 基本目標3 施策の柱4</p>	<p>●</p> <p>前橋市内の小学校通学路について、登下校時の交通量を市及び所轄警察で把握し、危険な道路はスクールゾーン化して、子供の安全を最優先する。</p>	<p>こども達の通学路の安全のために、各学校から挙がってきた危険箇所を基に、警察や道路担当の関係機関とともに毎年通学路合同点検を実施し、危険箇所の把握と必要な対策を協議し、改善を図っております。</p> <p>今後も各学校や関係機関と連携を取りながら通学路の安全確保に努めてまいります。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえまして、事業実施計画に当該事業を追加しました。</p>

39	第5章 基本目標3 施策の柱4	●	整備されていない通学路が多く非常に危険です。交通安全の面からもスクールバスがあれば良いのと思います。	<p>スクールバスにつきましては、運行に多くの費用を要するため、遠距離、山道により徒歩、自転車による通学が困難な児童生徒を対象としております。</p> <p>また、こども達の通学路の安全のために、各学校から挙がってきた危険箇所を基に、警察や道路担当の関係機関とともに毎年通学路合同点検を実施し、危険箇所の把握と必要な対策を協議し、改善を図っております。今後も各学校や関係機関と連携を取りながら通学路の安全確保に努めてまいります。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえまして、事業実施計画に当該事業を追加しました。</p>
40	第5章 基本目標3 施策の柱4		特に防犯安全に力を入れて欲しいです。教員や関わる人間からの性被害やいじめのニュースが多く心配です。防犯カメラの設置を義務化して欲しいです。	<p>本市ではすべての小中学校に防犯カメラを設置し、校門や玄関、給食コンテナ室などを中心に安全確保に努めております。</p> <p>一方で、学校ごとに規模や構造が異なること、また設置管理に要する費用などから、大幅な増設は難しい状況です。いただいたご意見は、今後の安全対策の参考とさせていただきます。</p>
41	第5章 基本目標3 施策の柱4		通学中の連れ去りなどが心配です。	<p>各学校において地域や保護者との協力のもと、通学路の安全点検を実施しております。そこで把握した「人通りが少ない」などといった項目を含めた危険箇所を報告していただき、警察などの関係機関と共有しています。また、各学校においても、複数で下校するように促すなどの指導も行っております。</p> <p>今後も各学校や警察などの関係機関と連携を取りながら通学路の安全確保に努めてまいります。</p>

42	第5章 基本目標3 施策の柱4	<p>『安全・安心に』成長できる環境の整備」のために群馬県警察本部・前橋警察署・前橋東警察署との連携</p> <p>群馬県警察HPに掲載のとおり、令和8年群馬県警察重点目標の指針に「安全・安心を実現できる群馬県の実現」とある。前橋市と手法は異なるが、目指す方向は同じであることから、警察にはさまざまな部門があるので、「餅は餅屋」の知識・経験・ノウハウを活用し、下記対策を前橋市と県警で連携して推進し、体感治安向上を図る。</p> <p>(1) 通学時の自転車事故が中学生・高校生ともに群馬県が多いので、警察と連携して対策を図る。</p> <p>(2) 水難事故予防（水辺安全教室）・交通安全関連事業（交通安全教室など）DV講座・不審者対応訓練・防犯等への対策を身につける講座などを警察と連携し、こどもや若者が自らを守るための知識を習得できるよう実施する。</p> <p>(3) こどもや若者の非行防止や犯罪被害防止等に向けての活動も警察と連携して推進する。</p> <p>(4) インターネット上でのいじめや人権侵害などの問題でトラブルに巻き込まれないようにネットパトロールを警察と連携して推進する。</p>	<p>ご意見のとおり、警察と連携して施策を推進することは、安全・安心に成長できる環境の整備に非常に効果的であると考えております。挙げていただいた事業では、既に警察をはじめ、関係機関と連携して取り組んでいるものも多くございます。</p> <p>今後も引き続き、関係機関等と連携を図りながら、安全・安心に成長できる環境の整備に努めてまいります。</p>
43	第5章 基本目標3 施策の柱5	<p>毎日、前橋市から高崎市の高校へ通学しており、新前橋駅を頻繁に利用しています。素案にある「前橋市高校生学習室（アクエル前橋）」は非常に素晴らしい施設ですが、新前橋駅周辺、例えば上毛スクエア等にも同様の自習スペースを設置してほしいです。</p> <p>新前橋駅はJR各線の結節点であ</p>	<p>新前橋駅周辺への学習室設置については、現在の高校生学習室の利用動向や高校生数の推移、学習ニーズの変化、候補地の条件、運営体制など、複数の観点を踏まえて総合的に検討する必要があります。</p> <p>いただいたご意見は、高校生の自主的な学びを支える環境の拡充に向けて、今後の検討に活かしてまいりま</p>

		<p>り、市外の高校へ通う多くの生徒が乗り換えや通学で利用する重要な拠点です。現在のアクエル前橋の延べ利用者数が年間3万人を超え、目標値もさらに引き上げられている状況を見ると、高校生の学習場所に対する需要は非常に高いと感じます。特に試験期間中などはアクエル前橋が非常に混雑し、席が確保できないこともあると思います。交通の要所である新前橋駅前に、学校帰りや乗り換えの待ち時間に立ち寄れる学習室があれば、時間を有効に活用でき、学習環境がさらに充実します。素案の基本目標3が掲げる「こどもが安全に、安心して、自ら学び、成長できるまち」を実現するために、ぜひ新前橋駅周辺への施設整備を検討してください。</p>	<p>す。</p>
44	<p>第5章 基本目標3 施策の柱5</p>	<p>放課後の居場所づくりやまちづくりについて細かく分けられています。こどもが過ごす場所で最も多くの時間を過ごしているのが「学校」です。放課後や勉強する場所があることはありがたいことですが、それよりも前に整備してほしい場所が学校の環境ではないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○衛生的に決して清潔とは言えない暗くて冷たいトイレ</li> <li>○ささくれ立った木の椅子や机</li> <li>○害虫が出たり、冷暖房設備のない特別教室</li> <li>○職員が足らずに担任不在の学級</li> <li>○ほうきでの掃き掃除、ぞうきんでの拭き掃除しかさせられない清掃環境</li> <li>○うざ、きも、しね、という言葉が簡単に使う子が多く存在する環境</li> </ul> <p>課題は本当に多いです。文字にする</p>	<p>こどもたちの健やかな成長には、安全、安心な施設や環境が不可欠です。ご指摘のとおり、トイレや机・椅子の老朽化、冷暖房設備の不足、教職員不足など課題は多いことは認識しております。</p> <p>これらの課題については、引き続き学校環境の改善を重点課題とし、計画的に取り組むことに努めてまいります。</p>

			と小さいことに思われますが、こどもたちが過ごしている学校の環境から改善していただく必要があると思います。	
45	第5章 基本目標3 施策の柱5		放課後児童クラブの中でスポーツクラブも選択肢があれば良いと思います。学童ではぎゅうぎゅうの部屋で子ども達が遊んでいるそうなので、のびのびスポーツを楽しんで欲しいと思いました。	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）は、保護者の就労等により放課後に適切な見守りが必要な小学生を対象に、安心して過ごせる生活の場を提供し、遊びや集団生活を通じた育成支援を行うことを目的とした事業です。このため、スポーツクラブや各種習い事のように、特定の活動や技能の習得を目的としたものとは性質が異なります。 一方で、放課後児童クラブにおける育成支援の中では、こどもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、体を動かす遊びやスポーツを取り入れているクラブもあります。また、状況に応じて学校の校庭等を活用し、のびのびと体を動かして過ごす時間を設けております。 市としましては、いただいたご意見の趣旨も踏まえながら、放課後児童クラブの運営者とも協力し、児童一人ひとりの発達や興味に寄り添い、適切な遊びや生活の場の充実を図ることで、健全な育成につながる環境づくりに今後も努めてまいります。
46	第5章 基本目標3 施策の柱5		学校以外にも安心して過ごせる居場所がもっと必要だと感じました。学校に行けない時や、行くのがつらい時でも、否定されずに過ごせる場所があると助かるこどもは多いと思います。	こどもが安心して過ごせる居場所づくりは、健やかな成長を支える上で非常に重要であると認識しています。今後も本計画に基づき、一人ひとりが安心して過ごせる居場所づくりを推進してまいります。
47	第5章 基本目標3 施策の柱5		前橋にこどもが遊べてお勉強もできる生涯学習センターのような施設が多くなったり、洋服屋さんや靴屋さんなどでこどもの遊びスペースがで	こどもが安心して過ごせる居場所づくりは、健やかな成長を支える上で非常に重要であると認識しています。今後も本計画に基づき、一人ひ

			<p>きるといいのかなと思いました。また、その生涯学習センターのような建物の中でワークショップなどができるで一石二鳥なのかなと思いました。</p>	<p>とりが安心して過ごせる居場所づくりを推進してまいります。</p> <p>こどものワークショップ等については、ご意見の場所も含め、効果的な会場で実施できるよう検討してまいります。</p>
48	第5章 基本目標3 施策の柱6	●	<p>不登校や学校が辛い子どもへの支援について、具体的な内容が分かりにくいと思いました。どこに相談すればいいのか、どんな支援が受けられるのかを、子どもにも理解できる言葉でまとめてほしいです。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえまして、本計画の本編とやさしい版に、相談窓口や相談内容等の一覧を追加しました。</p> <p>内容によって複数の相談窓口がありますが、相談内容に近いと思った窓口におかけいただければ、必要に応じて担当となる窓口にお繋ぎすることも可能です。困っていることや、悩んでいることがあるときは、ご相談ください。</p>
49	第5章 基本目標3 施策の柱6		<p>子どもが困り事を相談する窓口ですが、電話番号の書かれたチラシ等をよく目にします。ですが電話より、LINEやメールでやり取り出来る方が良いと私は思います。今の時代、固定電話や公衆電話が減り、スマホを子どもに持たせているといっても、限られた人とだけだったり、我が家に関してはLINEしか出来ないようにして持たせています(子どもに迷惑電話がかかってきては困るため)。QRコードやLINE友達、インスタも電話が出来るらしいので、それらを活用されてはいかがでしょうか？</p>	<p>子どもに関する相談窓口であるプラザ相談室では、電話や来所のほか、メールによる相談も受け付けております。また、一部相談では、貸与するタブレット端末から相談ができるようになっておりますが、いただいたご意見を参考に、引き続き相談しやすい環境の整備に努めてまいります。</p>
50	第5章 基本目標3 施策の柱6		<p>相談体制において、LGBTQに関する専門的な相談対応について追記を要望します。</p> <p>1. 専門相談窓口の設置:性的指向や性自認に関する悩みを抱える子ども・若者、およびその保護者が安心して相談できる専門窓口の設置を明</p>	<p>相談体制については、既存の窓口において、LGBTQに関する相談やこどもの相談は受け付けております。既存の相談窓口の周知に努めるとともに、相談しやすい環境の整備や相談体制の充実等について検討してまいります。</p>

		<p>記してください。思春期の子どもたちは、自分の気持ちをどう理解し、誰に相談すればよいか分からず、孤立しやすい状況にあります。相談員には、LGBTQに関する専門知識を持つ人材の配置が必要です。専門団体との連携も有効です。</p> <p>2. 学校における相談体制: スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが、LGBTQに関する相談に適切に対応できるよう、研修の実施と対応マニュアルの整備を計画に含めてください。LGBTQ 人権教室実施後、児童生徒から相談を受けることがあります。継続的な支援につなぐ体制の構築が必要です。</p> <p>3. オンライン相談の充実: 匿名性を保ちながら相談できるオンライン・SNS 相談窓口の設置も有効です。若者世代が利用しやすい相談チャンネルの多様化を図ってください。特に、周囲に打ち明けにくい悩みだからこそ、匿名で相談できる窓口の重要性は高いです。</p>	<p>なお、本計画は、様々な子どもに関する施策を総合的に推進するための計画であり、個別事業について詳細を定めるものではありません。そのため、計画全体のバランスを鑑み、記載内容については原案のままとし、いただいたご意見については、関係部局と共有させていただきますとともに、今後の市政の参考とさせていただきます。</p>
51	別冊 1	<p>● 「LGBTQ 人権教室」について、この事業の重要性を実感しております。事業概要として「市内の小中学校を対象に、多様な性のあり方を学び、自分らしさを大切にするとともに、違いを認め合い、お互いを尊重する大切さを学ぶ機会としています」と記載されていることは素晴らしいです。しかしながら、現状では年間 2 校分の予算しか確保されておらず、前橋市の学校数(小学校約 50 校、中学校約 20 校、高校 1 校)を考えると、多くの子どもたちにこの大切な学びを届けるには不十分であると考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、性の多様性について、子ども達への計画的かつ継続的な教育の重要性については認識しております。</p> <p>より多くの児童生徒が在学中に学ぶ機会を得られるよう、いただいたご意見を踏まえまして、「性の多様性に関する講習会」の実施回数を成果指標に設定するとともに、回数を増やすことを目標とすることとしました。</p> <p>また、中学生への優先的な実施や、継続的な学習の仕組みづくりについても、教育委員会と連携を図りながら、引き続き検討を進めてまいります。</p>

		<p>実施拡充が必要な理由:性的指向や性自認に関する他者との違いに悩むのは、思春期が最も多い時期です。この時期の子どもたちは、自分自身を説明する知識がなかったり、周囲(友だち、保護者・親族、教員)の無理解に傷ついても、助けを求めることが難しい状況にあります。また、非当事者の児童生徒においても、無知からいじめの加害者になってしまふことがあります。こうした状況を防ぐためにも、より多くの子どもたちにこの教育を届けることが必要です。</p> <p>以下の点について、計画への反映と予算の拡充を要望いたします。</p> <p>1. 実施校数の段階的拡充:現状の年間2校から、段階的に実施校数を増やしていくことを目標として明記してください。まずは計画期間内(令和8年度～11年度)に、より多くの子どもたちが在学中に一度はこの教室を受講できる機会を増やすことを目指していただきたいです。具体的な年次計画を策定し、着実に拡充していくことを求めます。</p> <p>2. 中学校での優先実施の検討:思春期にあたる中学生は、性的指向や性自認に関する悩みを抱えやすい時期です。まずは市内の全中学校で定期的の実施できる体制を目指すなど、優先順位をつけた実施計画の策定も有効と考えます。</p> <p>3. 実施体制の明確化:担当課は「共生社会推進課」となっていますが、教育委員会との連携体制を強化してください。外部の専門団体(当事者団体や支援団体)との協働を明記し、実際に講師派遣を行っている団</p>	<p>す。</p> <p>なお、本計画は、様々な子どもに関する施策を総合的に推進するための計画であり、個別事業について詳細を定めるものではありません。そのため、計画全体のバランスを鑑み、その他の記載内容については原案のままとし、いただいたご意見については、関係部局と共有させていただきますとともに、今後の市政の参考とさせていただきます。</p>
--	--	---	--

		<p>体との継続的な連携を保障してください。当事者の声を直接届けることが、こどもたちの心に響く効果的な教育につながります。</p> <p>4. 継続性の確保: 単発の教室ではなく、発達段階に応じた継続的な学習プログラムとして位置づけることを要望します。小学校高学年から中学生の時期に、適切なタイミングで学ぶ機会を設計してください。</p>	
52	別冊 2	<p>● 学校のトイレ環境について強く改善してほしいです。古くて汚れやにおい、便器の冷たさが気になり、体調が悪い時や生理の時などにつらく感じます。毎日使う場所なので、すべての学校のトイレを清潔で使いやすいものにしてほしいです。トイレの環境が原因で学校に行きづらくなる人もいると思います。</p>	<p>本市では学校のトイレをより快適で使いやすい環境にするため、便器の洋式化（ウォームレットで便座が温かいトイレへの更新）、床の乾式化（汚れを掃除しやすい床へ改修）、配管の改修（臭いや漏水の改善）といったトイレの改修工事を毎年計画的に進めています。全ての学校を順番に改修しているため時間がかかりますが、引き続きよりよいトイレ環境となるよう取り組んでまいります。</p> <p>なお、この取組は、こども計画の別冊 2 施設整備計画に位置付けております。</p>
53	概要版	<p>レイアウトのデザイン配色も見易いです。</p> <p>2 ページの計画についての文章は、少し書体を拡大&amp;太字にしてもよいかと思えます</p> <p>今後も市として様々な支援を、様々な部署で、民官連携して計画を進めていただくことに感謝致します。</p>	<p>ご賛同いただきありがとうございます。</p> <p>多くの方にご覧いただき、ご理解いただけるよう、より分かりやすい資料作成に努めるとともに、本計画の基本理念の実現に向け、計画に基づく様々な施策を実施してまいります。</p>
54	やさしい版	<p>レイアウトのデザイン配色も見易いです。</p>	<p>ご賛同いただきありがとうございます。</p> <p>多くの方にご覧いただき、ご理解いただけるよう、より分かりやすい資料作成に努めてまいります。</p>
55	やさしい版	<p>2 ページ「子ども計画ってなあ</p>	<p>ご賛同いただきありがとうございます</p>

			に？」 そこの文章が詳しく書いてあるので理解しやすかったです。	す。 本計画は、より多くの方にご覧いただけるよう「概要版」や「やさしい版」の資料作成もしております。
56	やさしい版		理由や目標にしている姿にするために取り組んでいきたいこと、私たちにもできることなどを分かりやすくまとめていて良かった。	「概要版」は計画の内容を要約してまとめた資料、「やさしい版」は内容をより簡潔にし、平易な用語を用いた資料となっております。いずれも皆様にご理解いただけるよう、より分かりやすい資料作成に努めてまいります。
57	やさしい版	●	『こどもの気持ちや意見を大切にしながら、みんながずっと幸せな生活を送ることができる社会を実現するために、国のルールとなる「こども基本法」ができました。前橋市は、こどもの権利を守り、みんなの声を聴きながら、もっと良いまちをつかっていくために、「こども基本法」をもとに「前橋市こども計画」を新しく作ることにしました。』の部分が文章だらけで少し分かりにくいので、イラストも込みで説明してくれるともっと見やすくなると思いました。	いただいたご意見を踏まえまして、「やさしい版」資料について、当該説明に加えイラスト（図式）を用いた説明を加えるよう修正しました。
58	やさしい版		3 ページ「3つの基本目標」 3つ全部とてもいいことが書いてあるのいいなと思いました。	ご賛同いただきありがとうございます。 本計画では、本市の目指す姿として
59	やさしい版		【やさしい版】3ページの目標が素敵と思った	基本理念を定め、それを実現するための3つの基本目標を定めております。この目標を達成し、基本理念を実現するために、本計画に基づき、施策を推進してまいります。
60	やさしい版		3 ページ 子供も一緒にまちづくりをできるようにするというのが新たなことにつながるかもしれないので良いと感じました。	ご賛同いただきありがとうございます。 より良いまちとするために、こどもの意見も不可欠です。本計画に基づき、こどもが意見を表明する機会を確保し、その意見を聴き、施策に反

			映する取組を進めてまいります。
61	やさしい版	●	前橋市こども計画（やさしい版）の3ページ目の基本ポイント②「こども、若者、子育て家庭をみんなでサポートします」のみんなとは具体的にどの立場の人やものを指しているのかを知りたいです。
62	やさしい版		みんなの声や権利を大切にしたいとありますが、言葉にうまく表現できない子もいるため聞き取り方もいろいろ取り入れてもらいたいです。
63	やさしい版		「前橋市こども計画（やさしい版）」を読んで、こどものことを考えて作られている点は大切だと感じましたが、いくつか疑問や足りないと感じた点もありました。まず、「こどもの意見を大切にする」と書かれている一方で、実際にこどもが安心して意見を言えたり、それがどう反映されたのかを知れる機会は少ないと感じました。意見を集めるだけで終わらず、どのように活かされたのかを分かりやすく伝えてほしいです。
64	やさしい版		前橋市こども計画素案（やさしい版）を読んで、こどもから聴取した意見がどのように反映されたのか、結果をフィードバックする機会が少なかったことは、改善していく必要があると認識しております。自分の意見がどのように反映されたのかを知ることで、自己有用感や社会参加への意識が高まり、次の意見表明へと繋がると考えます。今後意見聴取を行う際は、その結果を分かりやすく伝えられるよう努めてまいります。
			ご意見のように、より多くの人に伝

			版)の4ページの「みんなの声」とあるところは、どのように集め、どのように発信(どんな人にも伝わる)するとより多くの人がわかってくれるのかはすごく楽しみです。	わるよう、こどもの意見を聴く取組への参加者の募集の方法やこどもに情報が行き届くための効果的な発信方法について、こどもの意見を聞きながら検討してまいります。
65	やさしい版	●	(これから取り組むこと、4ページ)「不登校や障害のあるこどもなど、声をきかれにくいこどもの意見も大切にします。」という文はよくないと思いました。まるで今まで、全く意見を聞いてきていなかったような感じがしました。それに、ことうう文を入れることこそ差別を感じました。「不登校や障害のあるこども」を特別に見ているような、他のこどもとは違うように思っているような、ことうう考えが感じられて嫌でした。不登校の人は元は普通に通っていてそれが普通には通えなくなってしまっただけなので、ことうう言い方が本人たちを「自分は不登校」という気持ちにさせてしまっているのではないかと思いました。	いただいたご意見を踏まえまして、該当部分を修正しました。
66	やさしい版		五ページ目の子供、若者、子育て家庭が平等にサポートされればいい前橋市になると思う	ご意見のとおり、ライフステージや置かれた状況に関わらず、誰もが必要な支援に繋がれるよう施策の充実や情報提供の改善等に努めてまいります。
67	やさしい版		(やさしい版4、5ページ)私たち子供だけでなく、親への支援も考えられており、課題を根本から変えようとしているのがよく分かりました。	本計画に掲げる基本理念の実現のためには、こどものみならず、若者や子育て当事者への支援、更にそれを取り巻く社会全体での取組が必要になります。 本市が抱える課題の解決に向け、本計画に基づき、こども・子育て施策を総合的かつ計画的に進めてまいります。
68	やさしい版		5ページの「これから取り組むこと」について、子どもが安心できる	こどもが安心して過ごせる居場所づくりは、健やかな成長を支える上で

		居場所を作ることは、とても大切なことだと思いました。	非常に重要であると認識していません。 今後も本計画に基づき、一人ひとりが安心して過ごせる居場所づくりを推進してまいります。
69	やさしい版	5 ページ目の、ポイント②をよんで、安心して過ごせるなど、思いました。	こどもが安心して過ごせる居場所づくりは、健やかな成長を支える上で非常に重要であると認識していません。 今後も本計画に基づき、一人ひとりが安心して過ごせる居場所づくりを推進してまいります。
70	やさしい版	6 ページの「前橋市のことが好きな子供」の資料を見て、私は前橋市のことは住みやすいので好きですが、中学生、高校生と年齢が上がると、前橋市を好きな人が少なくなるということに驚きました。 もっと前橋市のことが好きな中学生や高校生を増やす必要があると思います。	中学生・高校生の年代になると「前橋市が好き」と回答する割合が少し低下する傾向が見られることは、私たちが課題として受け止めております。自分達が住んでいる街を誇りに思い、もっと好きになれるよう、本市の魅力を市民にも積極的に発信してまいります。
71	やさしい版	前橋の子供達が大きくなるに連れ前橋市を好きではなくなっているという現実。 子供は小さければ小さいほど活動範囲が狭く地域のみでの行動が目立ちますが大きくなるに連れ行動範囲も拡大し隣接市との比較も出てくるのではないのでしょうか。大型商業施設、隣接市の高崎や伊勢崎などのスーパーやイオンはどんどん新たな店舗が増え拡大している印象にあります。けやきウォークはどうでしょうか？やはり若者は新しいものが好きなので新しいなにかを取り入れて行くのも手なのではないのでしょうか。	ご意見のとおり、若者が本市に愛着を持ち、積極的に市内で買い物やお出かけをしてもらうためには、大型商業施設での新たな取り組みも、ひとつの大事な要素だと思います。 本市としては、大型商業施設などの大規模店舗だけではなく、古くから地域を支える個店などの小さな店舗も含め、事業の継続や販路拡大等を支援することで、若者が積極的に各地域に出かけ、大きくなっても各地域や前橋市に愛着を持てるよう支援していきたいと思っております。
72	やさしい版	グラフがあり、わかりやすい。もっと前橋をすきになってほしい。	子どもたちが本市の魅力を身近に感じ、まちへの愛着や誇りを持てるよう、学校での学びや地域体験の機会

			づくり、魅力発信の取組を引き続き進めてまいります。
73	やさしい版	6 ページの前橋市のこどもについて毎年子供の人数が減っているという事は、未来に前橋市のこどもがいなくなってしまうかもしれないから、そのためにはどうしたら良いのか疑問に思った。	未婚率の上昇、出生数の低下、若者の転出増など、少子化が進む要因は様々です。これらの課題解決に向け、本計画に基づき、各事業を計画的に実施してまいります。
74	やさしい版	(やさしい版7ページ)これからもっと良い前橋市にしたいなと思いました。	より良いまちとするために、こどもの意見も不可欠です。本計画に基づき、こどもが意見を表明する機会を確保し、その意見を聴き、施策に反映する取組を進めてまいります。
75	やさしい版	(みんなで“前橋市”をつくろう、7ページ)「みんなの意見を聴くことを増やしていきたいと考えています。」とあって、とてもいい考えだと思いました。その意見を聞くために、前橋市内の学校に呼びかけ、学活や総合などの授業でこどもの意見を求めるといいと思います。ワークショップを行っていると書いてありますが、中学生、高校生は部活をしていたり、その大会があったりと休日に参加するのが難しいと思います。そのせいで意見を出すこどもが少なくなってしまうと思いました。アンケート調査がよく行われているのは知っています。けれど、そこでアイデアを聴いてもアンケートは1人で答えるので「その方が意見を言いやすい」という人もいますが「1人ではあまり思いつかない」という人もいます。なので、授業でテーマにしグループにわかれそれぞれで意見を出し合えばいいアイデアが出やすいのではないかと思います。私も「1人ではあまり思いつかない」という人の1人なのでそうなるとう	こどもから意見を聴く取組は、様々な機会を通じて行うことが重要と考えます。学校と連携した実施方法についても、ご意見を参考にさせていただき、教育委員会とともに検討してまいります。

		<p>れしいです。1人の方が意見を言いやすいという人もいますが、学校全体で前橋市のことを考えることで、学校全体が意見を言いやすい雰囲気になると思います。そうすることで、こどもが選挙などにも興味を持ちやすくなると思いました。</p>	
76	その他	<p>素案ってなんですか？</p>	<p>素案とは、市が作成した検討段階の計画の「下書き」です。パブリックコメントとは、市が計画を正式に決定する前に、こどもも含めた市民の皆さんに、計画の下書き（素案）を示して意見を聴き、その意見を反映させて正式に計画を決定する手続きのことを言います。パブリックコメントの手続きについても、こどもを含め分かりやすく伝えていくことができるよう努めてまいります。</p>
77	その他	<p>あんま行きたいって思わない子供向けすぎて10代に向いてない。つまんなそう</p>	<p>情報発信に関して、幅広い年代の方に興味を持っていただけるよう、引き続き検討を進めてまいります。</p>
78	その他	<p>こどものための施策としてのチラシは、前橋市が貸し出しているタブレットによく送られてくるが、見ていない人も多く、ほとんどの人が知らないと思う。また、魅力的なイベントであっても、申し込みが必要だとやめてしまう人もいないのか。</p>	<p>こどもに対する情報発信やイベントなどの申し込み手続きについては、より効果的で簡便な方法について、こどもにも意見を聴き、その意見を参考にして検討してまいります。</p>
79	その他	<p>前橋市をよくしたいという言葉の中で、「前橋をちゃんとしたい」という表現を見聞きすることがありますが、「ちゃんと」という言葉は少しあいまいで、何をどう変えたいのかが分かりにくいと感じました。今の前橋市のどこに問題があって、これから何を大切にしていきたいのかを、もう少し具体的な言葉で伝えてもらえたら、市民として安心でき</p>	<p>こども向けの「やさしい版」資料などでは、易しい言葉で内容を端的にまとめるために、あえて抽象的な表現を用いる場合もありますが、ご指摘のように、資料の作成に当たっては、本市が抱える具体的な課題や今後の方向性、各施策についてもできるだけ明確な言葉で分かりやすい説明となるよう努めてまいります。</p>

			ると思います。	
80	その他		前橋市については、市長選が行われることもあり、全国的にも注目が集まっていると思うが、イメージについては何とも言えない。群馬県の県庁所在地、県都まえばしとして誇りを持つために、街の商店街の活性化や、図書館の改修工事が行われており、それらは前橋市民として「いいな」と感じる。	いただいたご要望やご意見につきましては、関係部局と共有させていただきますとともに、今後の市政の参考とさせていただきます。
81	その他		個人的にアニメ「前橋ウィッチーズ」を観ており、朝ドラに携わっている方の脚本や、主題歌のインパクトも強いため、前橋を全国に広めるためにも力を入れてほしい。声優の方々の裏話を群馬県の tsulunos で配信していたり、けやきウォークでミニライブをしたり、聖地巡礼のパンフレットを無料で配布したり、と様々な活動をされていることは知っているため、もっと知ってもらいたいと思ってしまう。周りに観ていたという同級生がいなかった。	
82	その他		太田や足利には小さい子どもと体を動かしてのびのび楽しめる広い室内遊び場があるが、前橋には無い（子育てひろばはそんなに広くない）。私の希望としては、アンパンマンミュージアムを前橋に作って欲しい。アンパンミュージアムが仙台と横浜にあり、アンパンマンになかなか会えない。アンパンマンのイベントがけやきなどで開催した日には開店前から長蛇の列で小さい子ども連れに全然優しくない。前橋市民はアンパンマンに飢えている。アンパンマンを呼ぶことで周辺地域からの集客もあり、前橋に笑顔があふれるのではないのでしょうか。	

83	その他	隣の町には大きい公園がいくつかあるのに、私の町には公園がありません。どの地域にも子供がのびのび遊べる公園を作って欲しいです。
84	その他	地元のイベント(行事)などに力を入れていくのは良いと思います。今回の前橋祭りにミッキーを呼んだのはとても良かったです。ただ地元民より他県からの観覧者が増え地元民が優先して見れなかったことは残念です。
85	その他	市立図書館移転について中心市街地活性と図書館は切り離して欲しい。渋滞の無い場所、ゆとりある駐車場、出入りしやすい場所、本を借りる者としての願いです。 前橋東部に学習室無いため、東部に建てていただけると高校生も助かります。 市街地開発について市税の無駄遣いは反対。 図書館は活性化材料として欲しくない。
86	その他	宮城幼稚園跡地を地域の公民館活動や居場所づくりとして活性化利用したい。
87	その他	千代田町への共愛小中開校について。 市税で建築した校舎を私立共愛学園へ無償貸与はどう考えてもあり得ないと思う。 小中統廃合するのに私立の校舎を前橋市が新たに建てるのは違う。 前橋広範囲の公立校の良い学びや改築、前橋総合のプール利用優先でお願いしたい。 屋内プールで熱中症対策し大人も子供も健康作りを目指したい。 私立共愛学園として駒形周辺の活性

			化に尽力して欲しい。学園のみの力で。	
88	その他		市街地再開発 中央アーケードの様な、穏やかな人の繋がりが感じられる町づくりを望みます。	
89	その他		前橋市がより良く発展するため、交通についてバスや電車などに力を入れてアクセスが悪い所にも行きやすくなるようにして欲しいです。そうすれば前橋駅周りに商業施設ができ、賑やかになると思います。	
90 ～ 99	その他		「特になし」など	今後も市民の皆様の声を大切に、こども・子育て施策を推進してまいります。